

ピーターラビットTMを巡って

世界中で愛されているピーターラビットの絵本の作者、ビアトリクス・ポターは、イギリスで最も美しいと言われる湖水地方で農場を経営し、自然環境保護にも尽力しました。本講座は、ひろしま美術館で開催される特別展「ピーターラビット展」に合わせて、地理学、文学、文化、絵画の視点からピーターラビットの世界と、それに関連する問題について考えます。

【日 時】 平成29年 第1回:5月20日(土)9:40~11:50
第2回:5月27日(土)9:40~11:50
第3回:6月3日(土)9:40~11:50

【会 場】 サテライトキャンパスひろしま(広島市中区大手町1-5-3 県民文化センター5階)

〔第1回〕 5月20日 (土)	9:40~10:40	湖水地方の美を 創りだした自然	県立広島大学人間文化学部教授 酒川 茂
	10:50~11:50	東西美術のなかのウサギと 動物としてのウサギ	ひろしま美術館 学芸部長 古谷 可由
〔第2回〕 5月27日 (土)	9:40~10:40	湖水地方を守った 作家たちの想い	県立広島大学人間文化学部教授 天野 みゆき
	10:50~11:50	イギリス美術史の中で見る ピーターラビットシリーズ	ひろしま美術館 学芸員 森 静花
〔第3回〕 6月3日 (土)	9:40~10:40	動物物語の系譜の中の 「ピーターラビット」	県立広島大学人間文化学部教授 吉本 和弘
	10:50~11:50	絵本の歴史の中における 「ピーターラビット」	ひろしま美術館 学芸員 農澤 美穂子

【募集人数】 80名程度

【受講料】 無料

【対象】 どなたでも

【申込方法】 往復はがきの往信面の裏に①郵便番号、②住所、③お名前(ふりがな)、④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所お名前(「〇〇〇〇」様)をご記入の上平成29年5月6日(土)(消印有効)までに次のところにお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「美術館講座」係
電話(082)251-9534

※受講案内は締切日以降にお届けします。なお、申込多数の場合は抽選となることがあります。
※申し込みにあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

【主催】 県立広島大学地域連携センター・公益財団法人ひろしま美術館

講座内容

酒川 茂「湖水地方の美を創りだした自然」

湖水地方はなぜ美しいのでしょうか。起伏のゆるやかな氷河地形に数々の湖、石造家屋や石垣、羊が群れる景観に、ナショナル・トラストの発祥地であることが理解できます。この景観は何によって形成されたのか、気候、地質、地名、資源の点から考えます。

古谷可由「東西美術のなかのウサギと動物としてのウサギ」

家畜・愛玩動物として古い歴を持つウサギは、さまざまな形で表現されてきました。ウサギと人間とのかかわりを美術を通して考察することによって、日本と西洋の自然観を紹介します。

天野みゆき「湖水地方を守った作家たちの思い」

詩人ウィリアム・ワーズワース (1770-1850)、美術評論家ジョン・ラスキン (1819-1900)、ビアトリクス・ポター (1866-1943) の著作を読みながら、彼らの自然観と湖水地方への思い、時代を超えて受け継がれていくものについて考察します。

森 静花「イギリス美術史の中で見るピーターラビットシリーズ」

ビアトリクス・ポターは幼い頃より自然に親しみ、湖水地方の暮らしをいきいきと作中に描きました。彼女のこのような自然に対する態度を、イギリス美術史の流れの中で考察し、ピーターラビットシリーズの絵としての魅力を改めて問い直します。

吉本和弘「動物物語の系譜の中の『ピーターラビット』」

児童文学には動物がよく登場します。動物物語の系譜の中に置いて考えた場合に「ピーターラビット」にはどのような特徴があるのでしょうか。イソップ物語、キャロルの『不思議の国のアリス』、キプリングの『ジャングル・ブック』などと比較して考えてみたいと思います。

農澤美穂子「絵本の歴史の中における『ピーターラビット』」

西洋における、「絵」のある本の歴史について考察します。「ピーターラビット」が生まれるまでを振り返りつつ、「ピーターラビット」の位置付けを見つめ直します。